

## チュチェの社会主義建設への力強い意思表示



マッテオ・カルボネリ

ヨーロッパ・チュチェ思想研究学会書記長

朝鮮労働党第8回大会は社会主義と自主性のための朝鮮人民の闘争を推進しただけでなく、世界の革命的人民を鼓舞し、チュチェ思想研究者が研究を深め、チュチェ思想を実現するための指針をもたらす上で意義深い大会となります。

朝鮮労働党第8回大会は全世界が新型コロナウイルス感染症によって苦痛を舐めていた時期、それもすべての政治行事が中止となり、ただインターネット行事だけがおこなわれていた時期に召集されました。

朝鮮民主主義人民共和国で多くの代表が参加した中、朝鮮労働党第8回大会がおこなわれたのは、全的に新型コロナウイルス感染症を防ぐための決定的な対策があったからです。朝鮮労働党第8回大会は「活動する大会、闘争する大会、前進する大会」でした。それとは裏腹に、世界のすべての人民が目撃したように同じ時期にワシントンでおこなわれた米国会は、暴力と無秩序で民主主義理念を挫折させ、愚弄したものでした。

帝国主義者と反動層は「政治的変化の兆候」について騒ぎ立て、朝鮮労働党第8回大会で「改革」「改編」があるだろうと予測しましたが、周知のように大会は自主の路線を堅持し、大国にたいする屈従を排撃する一方、修正主義と日和見主義をともに排撃し、自己の革命的原則を堅持しました。

修正主義者の背信的な「改革」と日和見主義的な背信者によって東欧諸国で社会主義が崩壊した後、朝鮮労働党は自己の革命的原則を堅持しました。

1992年に平壤で「社会主義偉業を擁護し、前進させよう」という平壤宣言が採択されました。

そして、金日成主席の逝去以後、帝国主義者が朝鮮民主主義人民共和国の崩壊と「改革」の選択について予測している時、金正日総書記は、私に何の変化も望むな、と断固宣言し、朝鮮人民と世界の進歩的人民に赤旗を高く掲げて進むことを呼びかけました。以後、朝鮮民主主義人民共和国が帝国主義者の封鎖と引き続く飢餓、自然災害による厳しい難関に直面したとき、帝国主義の手先は朝鮮民主主義人民共和国が社会主義を

放棄し、資本主義の道を歩めば、多くの援助を与えと言いました。それにたいして金正日総書記は、われわれはチュチェ思想の旗の下に強盛国家を建設するだろう、われわれは帝国主義者が喧伝する「改革」「改編」に引き込まれては絶対にならない、「改革」「改編」は亡国の道であると述べました。

朝鮮労働党第8回大会は人民の福祉増進のために経済にたいする国家の指導的役割を高めることについて再度強調しました。

朝鮮労働党第8回大会が示したスローガンは「以民为天」「一心団結」「自力更生」です。

チュチェ思想の中心的な内容を成す自力更生は、帝国主義者の制裁によって生じた難関を克服する上で、社会主義と自主性を守り、人民の福利を増進させる上で決定的で必須の武器であります。

朝鮮労働党の路線は、共和国が戦争の廃墟から不死鳥のように立ち上がって国を速やかに復旧し、社会生活のすべての分野で大きな成果を収めるようにしました。これとともに挑戦と難関の中でも強力な国防力によって国の自主性を守り、経済発展で大きな成果を達成させました。これは朝鮮労働党が人民大衆を革命と建設の主人と見なすチュチェ思想を具現して、全人民を代表する人民的な党としての自己の活動を始めた時から収めた成果です。

こうした理由で朝鮮労働党第8回大会は、朝鮮労働党が人民大衆に依拠し、人民大衆を信じ、人民大衆のために献身しなければならないと強調したのです。

人民大衆を歴史の主体と見る人民大衆中心の金日成・金正日主義が示した道に沿って、朝鮮労働党は自主性にたいする人民大衆の志向と要求を実現するでしょう。

金正恩委員長を朝鮮労働党の総書記として推戴したことは金正恩委員長に対する朝鮮人民と朝鮮労働党員の高い尊敬の表現であり、自主性に対する要求と志向を実現しようとする責任感の現れです。事実上、新たな決心を抱いて白頭から開拓された路線と伝統を継承している金正恩総書記は、国の安全と幸福のために軍事的抑止力の建設と経済発展を同時におし進めるという遠大な計画をすでに実現しました。

金正恩総書記の指導の下に、そして金日成・金正日主義原理を正しく具現して朝鮮人民は朝鮮労働党第8回大会が決定した通りに、国の自主性を強化し、社会主義を守り、繁栄する社会を必ず建設するでしょう。

朝鮮人民が朝鮮労働党第8回大会の決定貫徹で大きな成果を収めることを願いつつ、われわれチュチェ思想研究者は国際主義精神で世界の進歩的人民を鼓舞激励するチュチェ思想を研究普及し、具現するための活動をより深度をもって行っていきましょう。